

令和 6 年度 江別市における 青少年健全育成関連施策

江別市教育委員会

学校教育支援室教育支援課

目 次

・ 児童生徒健全育成事業	・ ・ ・	1
・ いじめ防止対策事業	・ ・ ・	3
・ 「心の教室」相談事業	・ ・ ・	4
・ スクールカウンセラー事業	・ ・ ・	5
・ スクールソーシャルワーカー事業	・ ・ ・	6
・ 不登校児童生徒支援事業（参考）	・ ・ ・	9

事業名：児童生徒健全育成事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	《2》子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	—	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,689	8,656	8,785	8,817
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・専任指導員を配置し、巡回指導等を行う。
- ・青少年健全育成協議会を開催する。
- ・小・中・高の生徒指導担当教員や市の子育て支援課、警察などで構成する江別市指導連絡会等を開催し、関係機関の連携を図る。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度 実績見込み	6年度予算
活動指標 1	巡回指導実施回数	回	120	182	138	80
活動指標 2	関係機関連携会議開催回数	回	10	14	14	14

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・児童生徒による問題行動が発生しなくなる。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度 実績見込み	6年度予算
成果指標 1	補導された小中学校児童生徒数	人	43	92	92	90
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	5,056	5,175	6,245	5,994
正職員人件費 (B)		千円	6,466	6,463	6,531	7,464
総事業費 (A+B)		千円	11,522	11,638	12,776	13,458

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
6年度	・巡回指導の実施 ・青少年健全育成協議会の開催 ・江別市指導連絡会等の開催	・専任指導員報酬及び手当：5,690千円 ・青少年健全育成協議会委員報酬：58千円

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	第7次総合計画の開始へ向けた事業見直しに伴い、令和6年度から同じく児童生徒の健全育成に向けた事業である「青少年健全育成協議会経費」と事業を統合し、事業名を「児童生徒健全育成事業」へ変更した。

令和6年度 校外生活のきまり

保護者の皆様へ

- 1 児童生徒の校外生活について、健全育成という観点で、行動など注意深く見守りください。また、社会生活のマナーなどについても大人自ら手本を示してください。
- 2 市内の各小中学校では、地域や学校の行事等に応じて、細かなきまり等が提示されることもありますので確認の上ご指導ください。

外出について

- 1 出かけるときは、行き先、目的、帰る時刻を家の人に告げてから外出する。
- 2 外出時刻は、

月	小学生	中学生
4～9月	午後6時まで	午後7時まで
10月		午後6時半まで
11～2月	午後5時まで	午後6時まで
3月		午後6時半まで

※ 保護者と一緒にときは、保護者の判断による。
尚、学校独自の取り決めもあるので、その際は、学校の「きまり」を守る。

- 3 登下校の途中で、買い物や飲食はしない。
- 4 映画には、3年生以下は、必ず保護者など大人と一緒に行く。4年生以上が外出時刻を超える時は、保護者など大人と一緒に行く。
- 5 友達を泊めたり、友達の家に泊まったりしない。

遊びについて

- 1 危険な場所（工事現場、線路、河川など）へ近づかない。

また、危険な遊び（花火の変造、火遊び、人や動物を標的にするエアガン等の遊具）はしない。

- 2 花火は、時間、場所、安全をを考えて近所に迷惑をかけないように、保護者など大人と一緒に行う。
- 3 魚つり、キャンプ、登山、海水浴、スキーに行くときは、保護者など大人と一緒に行く。
- 4 ゲーム場やゲームコーナー、ボウリング場、カラオケボックス、インターネットカフェは、保護者など大人と一緒にでなければ利用できない。
- 5 スケートボードは公園等で人に迷惑がかからないように使用することとし、道路の使用は原則として禁止とする。

交通安全について

- 1 道路では遊ばない。
また、信号を守り、常に車や左右の道路状況に注意するなど安全確認をする。
- 2 自転車の利用については、歩行者や車に迷惑をけないように交通ルールやマナーを守る。
自転車に乗る時は、ヘルメットをかぶるなど安全には十分に気を付けるとともに、横断歩道を渡る時は、自転車からおり、必ず左右を確認してからおしで渡る。

その他

- 1 不審者に十分注意し、何かあった場合は、近くの大人や子ども110番の家などに助けを求め、すぐ警察や学校へ通報する。
- 2 市民体育館などの公共施設を使うときは、ルールやマナーをしっかり守って利用する。
- 3 大型店や商店への出入りは、用事のあるときだけにし、むやみに立ち入らない。
 - 万引きは犯罪であり、絶対しない。
 - お客さんに迷惑となる行動はしない。
- 4 インターネット等を利用する場合は、フィルタリングをかけるなど家庭のルールを決めて利用する。

えべつスマート4RULES（ルール）

※江別市小・中学生のスマホ・ネット等の利用に関する共通ルール

- ＜ルール1＞ 1日2時間以内とし、友だちとのメールなどのやり取りは、夜9時以降は行わない。
- ＜ルール2＞ 悪口や人を傷つける内容は書き込まない。送る前に、しっかり確認する。
- ＜ルール3＞ 名前・住所・学校名・顔写真などの個人情報報は、絶対に投稿・公開しない。
- ＜ルール4＞ 困った時は一人で悩まず、保護者や先生などの大人に相談する。

令和5年度 青少年健全育成標語 入賞作品

- ◆「だいじょうぶ？」 あなたの一言で すくわれる人がいる 江別第一小学校 6年 南 樹里 さん
- ◆おともだち けんかしないで あそぼうよ やさしいきもち だいじにしよう 大麻西小学校 2年 山下 諒 さん
- ◆あなたの 掛ける言葉で 救われる 明日を生きる 希望になる 江別第一小学校 6年 田中 心菜 さん
- ◆楽しいの？ 付け込み 追い込み あなたの書き込み 大麻東中学校 3年 西野 冬馬 さん

困ったことや相談ごとは・・・

- 江別市少年指導センター 384-7830
- 江別市いじめ不登校相談 382-4044
- 江別市家庭児童相談 381-1236
- 子ども相談支援センター 0120-3882-56（24時間）

江別市立 学校

TEL 〇〇〇-〇〇〇〇

事業名：いじめ防止対策事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育			戦 略	1 子どもが主役のまちをつくる				
取 組 の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策	(5) 教育相談・支援の充実				
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,689	8,656	8,785	8,817
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・相談窓口を設置し、専任指導員等が相談対応する。
- ・いじめの早期発見、早期対応を図るため、小中学生に対するいじめアンケート調査を実施する。
- ・いじめなどの悩みについて、児童生徒が市教委に直接伝える「心のダイレクトメール」を実施する。
- ・いじめ根絶をテーマの一つとして、えべつ中学生サミットを開催する。
- ・情報モラル普及啓発及びいじめを許さない意識醸成のため、講演会の開催、資料の作成・配付を行う。
- ・いじめや不登校等の未然防止、早期発見のためハイパーQUを実施する。
- ・いじめ防止対策審議会を開催する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度 実績見込み	6年度予算
活動指標 1	いじめアンケート実施回数	回	2	3	3	3
活動指標 2	いじめ相談件数	件	6	12	19	20

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

・いじめが解消される。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度 実績見込み	6年度予算
成果指標 1	いじめの解消率	%	99	66	70	70
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	0	0	1,585	2,405
正職員人件費 (B)		千円	0	0	4,610	11,196
総事業費 (A+B)		千円	0	0	6,195	13,601

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
6年度	・相談窓口の設置 ・心のダイレクトメールの実施 ・いじめアンケートの実施 ・えべつ中学生サミットの開催 ・情報モラルの普及啓発 ・ハイパーQUの実施（従来の中学校1年生に加え、小学校6年生も対象とする。） ・いじめ防止対策審議会の開催	・えべつ中学生サミット開催経費：80千円 ・情報モラル普及啓発経費：303千円 ・ハイパーQU実施経費：1,675千円

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：「心の教室」相談事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育			戦 略					
取 組 の 基本方針	《2》子どもの教育の充実			具体的施策					
開始年度	平成10年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童及び保護者

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	小学校児童数	人	5,759	5,825	5,853	5,890
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

・相談員を小学校へ派遣し、学校生活や日常の様々な悩みや困りごとの相談に応じる。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度 実績見込み	6年度予算
活動指標 1	相談員派遣学校数	校	17	17	17	17
活動指標 2	延べ相談時間	時間	5,096	5,194	5,040	5,200

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・児童及び保護者の悩みが軽減、解消される。
- ・児童が安心して学校生活を過ごせる。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度 実績見込み	6年度予算
成果指標 1	延べ相談件数	件	10,971	13,580	10,900	12,300
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	5,176	5,301	5,550	5,550
正職員人件費 (B)		千円	1,521	1,521	1,537	1,493
総事業費 (A+B)		千円	6,697	6,822	7,087	7,043

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
6年度	小学校17校に心の教室相談員を派遣し、児童・保護者の悩みや相談に対応する。	・心の教室相談員報酬 5,448千円

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
維持	

事業名：スクールカウンセラー事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育	戦 略							
取 組 の 基本方針	《2》子どもの教育の充実	具体的施策							
開始年度	平成 8年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）						
・児童生徒、保護者及び教育関係者						

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,689	8,656	8,785	8,817
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）						
・小中学校にカウンセラー（臨床心理士等）を派遣し、対象校の児童生徒をカウンセリングの対象として相談業務にあたる（報酬の一部は北海道負担）。						

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度 実績見込み	6年度予算
活動指標 1	派遣学校数	校	11	25	25	25
活動指標 2	延べ相談時間	時間	770	723	750	1,360

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）						
・児童生徒、保護者、教育関係者の悩みが軽減、解消される。						

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度 実績見込み	6年度予算
成果指標 1	延べ相談件数	件	1,189	958	1,070	1,900
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費（A）		千円	0	32	32	2,664
正職員人件費（B）		千円	1,521	1,521	1,537	1,493
総事業費（A+B）		千円	1,521	1,553	1,569	4,157

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）	
6年度	スクールカウンセラーを小中学校へ派遣し、相談に対応する。	・スクールカウンセラー報酬：2,632千円 ・消耗品費：32千円	

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	児童の心のケアの機会を充実させ、いじめや不登校、自傷行為等の課題の早期解決を図るため、道予算による小学校への派遣時間（1校あたり年間4時間）に市独自で上乗せし、1校あたり年間40時間を確保する。

事業名：スクールソーシャルワーカー事業 教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育			戦 略	1 子どもが主役のまちをつくる				
取組の 基本方針	(2) 子どもの教育の充実			具体的施策	(5) 教育相談・支援の充実				
開始年度	平成23年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	補助	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

- ・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,689	8,656	8,785	8,817
対象指標 2						

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・課題を抱える児童生徒や保護者に対する医療受診や福祉サービス利用等の働きかけ
- ・学校や関係機関（医療機関、児童相談所、福祉サービス事業所等）との連携や調整
- ・保護者や学校への児童生徒理解等に関する助言や相談支援

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度 実績見込み	6年度予算
活動指標 1	スクールソーシャルワーカー配置人数	人	3	3	3	4
活動指標 2	延べ相談支援件数	件	740	764	1,100	1,100

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

- ・児童生徒、保護者の抱える課題が解決される。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度 実績見込み	6年度予算
成果指標 1	支援児童生徒数	人	166	175	180	180
成果指標 2						

事業費の推移		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)		千円	7,187	7,427	7,361	11,257
正職員人件費 (B)		千円	3,043	3,042	3,073	2,986
総事業費 (A+B)		千円	10,230	10,469	10,434	14,243

事業内容（主なもの）		費用内訳（主なもの）
6年度	福祉の専門知識を有するスクールソーシャルワーカーが、課題を抱える児童生徒や保護者に対する支援を行う。 なお、活動指標2「延べ相談支援件数」は、成果指標1「支援児童生徒数」に対して行った相談支援の延べ件数である。	スクールソーシャルワーカー報酬及び手当：11,211千円

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	いじめ・不登校の未然防止や早期対応の充実を図るため、スクールソーシャルワーカーを増員し、課題を抱える児童生徒に対する十分な支援時間を確保する。

＊ スクールソーシャルワーカー(SSW)だより ＊

江別市教育委員会
学校教育支援室
教育支援課

～ こんにちは！江別市のスクールソーシャルワーカーです ～

江別市教育委員会では、今年度スクールソーシャルワーカー（SSW）4名を配置し、不登校やいじめ虐待、DV、貧困、発達障がいなど、児童生徒や保護者、先生方のさまざまな困り感に福祉的な立場から助言や支援を行っています。

昨今の感染不安や新たな生活スタイルへの変化も生まれ、大人はもちろん子ども達も不安な状態が続いており、昨年度はSSW全体で206件のケースの支援を行いました。

登校が安定しない、家庭環境による子どもへの影響、特別な配慮や対応など、子ども達が安心・安全を実感できる学校生活が送れるよう、SSWの活用をご検討ください。



【令和6年度のSSW担当校について】

SSW 田村千波		SSW 後藤 愛代 (サブ担当 田村)		SSW 滝川 裕治 (サブ担当 三国)		SSW 三国富美子	
9時～17時15分勤務 (火曜日休み)		9時～17時15分勤務 (火曜日休み)		9時～17時15分勤務 (木曜日休み)		9時～17時15分勤務 (木曜日休み)	
小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
大麻小学校 大麻西小学校 文京台小学校 大麻東小学校 大麻泉小学校	大麻中学校 大麻東中学校	野幌小学校 東野幌小学校 野幌若葉小学校 中央小学校 対雁小学校	中央中学校 野幌中学校	江別第二小学校 いずみ野小学校 北光小学校	江別第二中学校 江別第三中学校	江別第一小学校 豊幌小学校 江別太小学校 上江別小学校	江別第一中学校 江陽中学校
今年度、江別市のSSWは4名体制になりました。 子ども・保護者・学校に寄り添いながらよりきめ細かい支援に繋がりたいと思います。		後藤愛代(かみ)です。SSWは未経験ですが、「聞くこと」と「受け止めること」を大切に支援にあたりたいと思います。どうぞ宜しくお願いいたします。		はじめまして。今年度からSSWになりました”たきかわ”です。できるだけはやく若葉マークがとれるように努めますので、どうぞよろしくお願いいたします。		2年目になりました三国富美子です。今年度も先生方と一緒に、子どもたち・保護者の方に関わっていけたらと思っています。どうぞよろしくお願いたします。	

ケース相談の流れについて

① 各小中学校から教育支援課へ連絡してSSWの派遣を要請してください。派遣要請は「学校としての決定」に基づき、管理職が状況を把握した上で行ってください。

※派遣要請にかかる書類等は不要です。
※問題を抱える児童生徒の状況について概要と、以降SSWとの連絡担当者をお知らせください。
(管理職、特支コーディネーター、生徒指導担当等)

② 相談内容の基本的な情報や近況についてお伺いします。

※電話や学校訪問で、担任やコーディネーターから様子をお聞きします。

③ 児童生徒の授業観察や保護者面談などを行い、現在の課題の把握や、支援の方向性の共有等を行います。

④ 児童生徒が置かれている状況に応じて対応をします。

※子育て支援課や児童相談所、放課後等デイサービス、医療等との機関連携や、支援における情報共有と方向性の確認、役割の設定のためのケース会議など、具体的な支援プランを提案します。

「巡回相談」

江別市では発達や学習において心配や配慮が必要な児童生徒に対し、学校に専門家を派遣し、検査や助言を受けることができる巡回相談を実施しています。

SSWは「巡回相談」や「ねくすと」と、児童生徒や家庭を繋ぐための支援も行っています。

教育支援センター 「ねくすと」

学校に登校できない児童生徒の居場所作りとして、教育支援センターを開設しています。
※今年度から月曜～金曜
(午前10時～12時、午後13時～15時※水曜日は午前のみ) 週5日間の開設となります。

校内支援会議等へのスクールソーシャルワーカー(SSW)の参加をご検討ください

～ 子どもを取り巻く問題の複雑化・多様化に備えて ～

SSWは「チーム学校」の実現に向けて、専門性に基づく具体的なチーム体制や「見立て」と「見通し」を提案しています。個別ケースへの初期対応、不登校などへの予防的な対策の検討など、各学校で行われるケース会議や校内支援会議にSSWが参加し、日頃から学校の状況を共有することで、関係機関等とのコーディネート効果を効果的に図ることができます。
※ 会議の日程等につきまして、都度、各担当SSWにお知らせください。

つなげるころ つながる支援

ご相談は、江別市教育委員会 教育支援課
スクールソーシャルワーカー (SSW) まで

江別市高砂町24-6 TEL 011-381-1409



事業名：不登校児童生徒支援事業

教育支援課 主査（教育支援）

政 策	6 子育て・教育			戦 略	1 子どもが主役のまちをつくる				
取 組 の 基本方針	《2》子どもの教育の充実			具体的施策	《5》教育相談・支援の充実				
開始年度	平成16年度	終了年度	—	区分1	継続	区分2	単独	補助金	

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

・児童生徒、保護者及び教育関係者

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
対象指標 1	小中学校児童生徒数	人	8,689	8,656	8,785	8,817
対象指標 2	不登校児童生徒数	人	258	286	260	290

手段（事務事業の内容、やり方）

- ・相談窓口を設置し、専任指導員等が相談対応する。
- ・スクールカウンセラーによる教育相談を実施する。
- ・不登校児童生徒を対象に、適応指導教室を運営する。
- ・校内支援室に登校サポーター（有償ボランティア）を派遣する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度 実績見込み	6年度予算
活動指標 1	不登校相談件数	件	62	62	67	70
活動指標 2	適応指導教室実施回数	回	159	178	203	200

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

不登校の児童生徒が、再登校できるようになる又は学校外の機関等で相談・支援を受けるなど、状況が変化する。

指標名		単位	3年度実績	4年度実績	5年度 実績見込み	6年度予算
成果指標 1	学校や学校外の機関等とつながりのある不登校児童生徒の割合	%	55	49	50	50
成果指標 2						

事業費の推移	単位	3年度実績	4年度実績	5年度予算	6年度予算
事業費 (A)	千円	6,393	8,548	8,578	19,379
正職員人件費 (B)	千円	8,748	8,364	3,842	7,837
総事業費 (A+B)	千円	15,141	16,912	12,420	27,216

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
6年度	・相談窓口の設置 ・適応指導教室の実施 ・スクールカウンセラーによる教育相談の実施 ・校内支援室へ登校サポーター（有償ボランティア）の派遣	・専任指導員報酬及び手当：8,535千円 ・教育相談員報酬：207千円 ・登校サポーター謝礼：5,400千円 ・適応指導教室建物等賃借料：2,508千円

6年度への改善方向性(2月時点)	改善方向性選択理由（維持以外は記載）
見直し	不登校児童生徒に対する支援の強化に向け、適応指導教室の実施時間を午後までに拡大するため、常設会場を開設する。

江別市教育支援センター「ねくすと」案内

不登校に悩んだら、
まずはご相談ください

学校に行きたくても 行けない子のために

学校や保護者の
皆さんを応援します

～ 支援の基本姿勢～

集団生活への適応、情緒の安定、基礎学力の補充、基本的生活習慣の改善等のため
お子様や保護者の方の教育相談を進めながら困り感の解消に努めます
学校と連携し、社会的自立に向かえるよう支援します

活動内容

目 課 表

	月	火	水	木	金
10:00	学習活動	読書活動	学習活動	学習活動	学習活動
11:15	交流活動	読書活動 交流活動	交流活動	交流活動 英語活動	交流活動 英語活動
12:00	昼食・休憩	(移動) 昼食・休憩	保護者懇談 教育相談 等 教育庁舎業務	昼食・休憩	昼食・休憩
13:00	学習活動	学習活動		(移動)	学習活動
14:15	交流活動	交流活動		体育活動	交流活動
15:00	※ ● 通級しやすい時間帯に通級し、午前だけの活用、午後だけの活用もできます ● 帰宅する前には日誌を書いて提出しましょう ● 火曜日は情報図書館で読書活動、午後の活動は専用施設へ徒歩で移動しましょう ● 木曜日は 13 時に市民体育館へ徒歩で移動しましょう				

専任指導員、専任相談員、SSW(スクールソーシャルワーカー)、学習サポーターで支援を行います。

【個別指導】

- ・ 支援活動
- ・ 学習支援
- ・ 個別相談
- ・ 訪問支援

【集團指導】

- ・交流活動、体育活動(毎週木曜日)
- ・読書活動(毎週火曜日)
- ・ケア事業(年10回程度)
 - 料理教室、カードゲーム、軽スポーツ
 - 農業体験、高校見学、等

【連携支援】

- ・学校との情報共有
- ・保護者相談
- ・保護者懇談会(年2回程度)
- ・SSWとの連携
- ・学校訪問

※年間カレンダーをご参照ください

通級生の声

私(ぼく)にとっての「すぽっとケア」

いばしょ

☆安心できるところ。 ☆いろんな方とコミュニケーションがとれるところ。
☆もう一つの学校のような場所でした。
☆初めて来た時は、緊張して声も出せない程でしたが、慣れてしまえばこんなに居心地のいいところはありませんでした。

じぶん

- ☆本を読む場所
- ☆話をして楽しんだり、集中して学習ができる場所。
- ☆自分についてじっくり考え、知ることができるところ。
- ☆帰る時には、ちょっと気持ちが明るくなるところ。

おとな

- ☆先生や相談員の方々が
真剣に話を聞いてくれる
ところ。
- ☆信頼できる大人の人がいる
ところ。
- ☆家族で色々あり、先生方の力に
頼ることも多々……その度に一
くぐだしました。
- ☆進路の事でよく相談に乗ってく
卒業できたのも、すばつとケアは

なかま

☆たのしい場所。

☆沢山笑うことができ
充実した時間を過ごせた。

みらい

☆自分の目標を明確にし、活動することができ、前に進むことをサポートしてくれるところです。
☆私たちの将来の為に、応援してくれたり、手助けしてくれるところでした。

- ☆皆おもしろくて優しい性格で過ごしやすいところでした。
- ☆たくさんお話ができる楽しいところ。
- ☆友達がいて楽しいところ。
- ☆色んな学校の人と話せる、楽しい場所。

連絡先

江別市教育支援センター 011-376-0222 または 江別市教育委員会・教育支援課 381-1409
ねくすとメール ebetsu-kyoiku-5@hokkaido.school.ed.jp

